

# 湘南フォーラム

## 未来に向けて輝くまち「ひらつか」

内堀 祐一 議員



### 平成28年度当初予算

**問** 28年度の当初予算によって、市民生活や市民サービスは向上するののか。

**市長** 総合計画の重点施策を中心に、ハード・ソフト両面とも充実した施策を推進できる予算編成を行った。

**問** 予算削減により、少数弱者が切り捨ての対象にならないか。

**市長** 必要な部分は残すことを基準に担当業務内で前年度より10%削減する方向で予算を編成した。最終的に少数弱者への影響はない。

### 平塚市総合計画

**問** 総合計画の4つの重点施策で、障がい者福祉の施策が入っていないが、何か方針はあるののか。

**企画政策部長** 総合計画の基本施策の「障がい者福祉を推進する」という大きな柱の中で、障がい者福祉全般を推進していきたい。

**問** ツインシティ大神地区土地整理事業の今後の予定を伺う。

**市長** 昨年12月から工事に着手し、事業全体の工事期間は約12年の予定である。早いところでは、3、4年後には土地利用が図られる。総事業費約220億円のうち、本市の負担額は約31億円で、27年度は2億6083万円、28年度は6億925万円の予定である。残り

の約22億円は、事業の進捗に合わせ、関係機関と協議調整を図りながら負担する。

**問** 多くの高齢者や子育て世代は居場所や活動場所を求めている。駅周辺商店街の空洞化対策として、空き店舗の一時的な無料活用を呼び掛けるなど、商店街に人々を呼び戻す施策がでないか。

**産業振興部長** 無料、低料金で店舗を貸してもらえば、市民活動団体などが、市民活動団体などにもつなげていく。また、市民団体から話があれば、具体的な調整や協議をしたい。

**問** ひとり親世帯や多子世帯など要支援家庭には、重点的に支援する必要があるのではないのか。

**市長** 子供の貧困対策と関連して、教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援などに体系化して事業を把握するとともに、国や県の施策との整合性を図りながら庁内連携を密にして施策に取り組んでいく。

**問** 平塚児童相談所など県との連携が重要ではないか。

**市長** 本市に児童相談所が開所されたことで、児童虐待などへの対応が素早くなり、さまざまな場面で助言が受けられるなど、連携は密になっている。新設される県立の児童自立支援拠点についても、支援を必要とする市内児童への対応を含

め、連携を図っていく。

**問** 想定外の自然災害では情報が生死を分ける。行政の情報収集と発信体制はどのような形で進めるののか。

**防災危機管理部長** 河川管

### 平成28年度予算

**問** 中学校完全給食実施はどう検討するののか。

**市長** 市内全中学校で業者弁当販売を実施している。毎年7月に評価調査を行い、昼食運営の充実を図り、結果を基にその先を判断する。

**問** 平塚市まちづくり財団の補助金5575万円が予算化されている。財団は26年に見附町に土地を6730万円で購入し、1月に建物建設の近隣説明会を実施した。なぜ建物を建設する財団に補助金を出すののか。

**市長** 財団補助金は人件費に対する補助である。事務用地取得費は収益の一部を毎年積み立てた資金であり、建設費は金融機関からの借入金である。今後財政的自立を高め、自主的運営を指導していく。

**問** 財団の補助金は市民感覚として問題である。なぜチェックできなかったののか。

**企画政策部長** 財団の事業

理者である京浜河川事務所の所長や、横浜地方気象台の気象台長と市長との各トップ会談を行い、トップ同士のホットラインを確認するとともに、市民への混乱のない情報提供などについて意見を交換した。また、避難勧告や特別警報などの避難情報を、市民に分かりやすいタイミングや内容で

発信できないか検討している。さらに、東海大学では市民や地域の方がツイッターに投稿した情報を共有活用するシステムを研究している。今年度の帰宅困難者訓練の中で、初めて共に検証、訓練した。試行の段階であるが、行政による情報収集や発信を多方面で進めている。

### 崇善公民館 建て替え問題

**問** 崇善公民館は耐震補強もできない状態である。建て替えについてはどう考えているののか。

**教育長** 見附町駐車場を候補地として市民活動センターと合築して整備する。28年度は整備の内容、時期、手法を決定する。その後、設計、建設へと進める。

**問** 今後のスケジュールについて伺う。

**教育長** 地元説明会を行うところまでできている。このことを決意として捉えてほしい。

### 新庁舎建設の遅延

**問** 新庁舎建設が遅れている。完成予定はいつになるののか。また、最終的に工事費はいくらになるののか。

**総務部長** 工事は23年9月に着手し、完成は29年12月で工事期間は約6年3か月となる。工事予算は145億667万円を見込んでいる。今後、工事受注者から賃金、物価の上昇に伴う請求があると予想される。

**問** 工期延長、建設費増額と市民に多大な迷惑をかけている。これに至った経緯を検証する必要がある。その結果を市民に報告する義務は、議会と行政にある。問題が風化する前に実行すべきであるが、見解を伺う。

**総務部長** 新庁舎建設位置

## 平塚創生会

### 平成28年度予算と新庁舎建設遅延

金子 修一 議員



の多くは公益事業なので、関係を深めていきたい。

### たばこ産業跡地の利用計画

**問** 日本たばこ産業平塚工場は3月に操業を中止し、売却される。跡地利用について、地域活性化に寄与した開発を事業者をお願いすべきではないか。

**市長** 跡地利用について、

## 日本共産党平塚市議会議員団

高山 和義 議員

### 新年度施政方針と高校再編を問う

### 平成28年度施政方針

**問** 施政方針で最も重視する課題を伺う。

**市長** 方針で掲げた4つの取り組みが重点課題であり、選ばれるまち・住み続けるまちの実現に向け、飛躍する年にしたい。

**問** 景気回復は、生活実感から掛け離れている。市内経済は好転しているののか。

**市長** 産業の投資意欲の高まりがみられる一方、市民一人一人が景気回復を実感するには至っていない。

### 小児医療費助成拡充

**問** 小児医療費助成制度の中学校3年生までへの拡大は評価するが、所得制限を撤廃すべきではないか。

**市長** 国や県の医療制度改革正や今回の制度拡大の実施結果を勘案し検討する。

### 日常生活支援事業

**問** 新たな日常生活への支援事業の現状と課題を伺う。

**市長** 12地区で協議体が設置され体制づくりを推進している。進捗に地域差はあ

### 日常生活支援事業

**問** 必要性を説明していく。市内どこでも同じサービスを受けられるののか。

**福祉部長** 町内福祉村や地区社協を中心に体制を作る。地域で違いがある場合、行政はどう対応するののか。

**福祉部長** 各協議体のニーズを把握し、行政も話し合いをバックアップしたい。

**問** 日常生活への支援事業は有償であるののか。

**福祉部長** 介護保険の1割負担は発生せず、基本的なサービスは無償となる。デイサービスなどの小

### 高校再編統合と改革

**問** 県の高校削減で中学生の進路は確保されるののか。

**教育長** 現在の県立高校入学定員水準は維持される。全日制進学率は最低水準であるが、見解を伺う。

**教育長** 県は、進路調査を勘案して定数を決めており、一定の進路は確保される。

**問** 改革で高校は、15タイプに振り分けられ、差別化される。中学校で将来を見据えた選択ができるののか。

**教育長** 課程が幅広く用意

### 国民健康保険税

**問** 低所得者が多い中で、税負担率が高いのはなぜか。

**健康・こども部長** 他の医療保険と比べ、年齢構成が高く、所得水準が低いことが負担不均衡の要因である。

**問** 国の保険者支援の交付金を活用し、被保険者負担を軽減すべきではないか。

**健康・こども部長** その他一般会計繰入金を直近5年間の平均程度にすることを目指し、改定幅を縮小した。▼このほかの質問 平塚市行財政改革計画2016

は「平塚市新庁舎建設基本構想策定委員会」での議論などを踏まえ決定した。工期延長、建設費増額は、地中障害物や汚染土壌の撤去によるものであり、事前調査では想定できなかった。今までも広報ひらつか、ホームページ、新庁舎建設だより、記者発表で周知してきた。市民の安心・安全、行政サービスの向上を図ることが市の責務である。

**問** 検証は将来の施設の建て替えの参考になる。広報ひらつかなどで検証結果を公表すべきではないか。

**総務部長** 現在2期工事を進めているが、技術的に難易度が高い。全体完成の際、将来に向け何らかの形を残していく必要がある。今後の検証は検討を進めていく。

され、興味関心に合った選択ができることは、可能性を広げる。主体的に選択できる生徒の育成に取り組む。